

平成 27 年 7 月 27 日

(公社) 高知県理学療法士協会会員各位

(公社) 高知県理学療法士協会  
会員区活動部中央西区域長 伊東祐二

## 会員区活動部中央西区域 平成 27 年度第 2 回研修会のご案内

拝啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、私ども(公社)高知県理学療法士協会会員区活動部中央西区域では、下記要領にて研修会を開催いたします。

今回の研修会では、愛宕病院リハビリテーション部の沖田学先生に「治療する理学療法のためのエッセンス ～認知神経リハビリテーションの視点から～」についてご講演していただきます。

つきましては万障繰り合わせの上多数のご参加をお願い申し上げます。

敬具

以下、沖田先生からの講演内容の紹介です。

理学療法で障害を最大限に改善させることは、理学療法の可能性を追求することに等しい。我々理学療法士の運動障害に対する治療は、運動学習に準拠して遂行される。認知神経リハビリテーションの基本理念は「あらゆる運動機能回復を病的状態からの学習と見なし、学習が脳の認知過程の発達に基づいているのであれば運動療法もまた認知過程の発達に基づいていなければならない」とされる。歩行できないから歩行練習をするのでは無く、歩行できない原因を仮説立てて治療課題により運動学習を促し検証していく。この臨床の中で、人間の運動学習の特徴である身体の変化を知覚して運動制御を行う知覚・運動の相互作用を考えることで理学療法の可能性が生まれる。理学療法の本来の専門性である治療することの可能性を追求する時間にしたいと考えています。

“望めさえすれば誰でもリハビリテーション専門家、信じさえすればすべてがリハビリテーション、患者のために行われる誠実な行為はすべてリハビリテーションとして有効である・・・もう、このような馴れ合いで済ますのは終わりにしよう。” Carlo Perfetti

宮本省三：リハビリテーション・ルネサンス.春秋社.2006

日 時：平成 27 年 10 月 18 日 (日) 9:30~12:30 (受付開始 9:00)

場 所：高知県立高知青少年の家 大集会室

〒781-2122 高知県吾川郡いの町天王北 1-14 TEL088-891-5331

テーマ：

「治療する理学療法のためのエッセンス ～認知神経リハビリテーションの視点から～」

講 師：沖田学 先生 (愛宕病院リハビリテーション部 理学療法士)

対 象：医療・福祉関係者

定 員：100 名

参加費：高知県理学療法士協会会員無料、会員外 500 円

申込方法：10月9日(金)までに申込用紙をFAXにてFAX088-852-2133  
まで送信して下さい。

問い合わせ先：088-852-2131 井上病院 リハビリテーション科 伊東 祐二

